

# 2012年2月期第2四半期決算説明会



代表取締役社長 **渡辺 恵一**

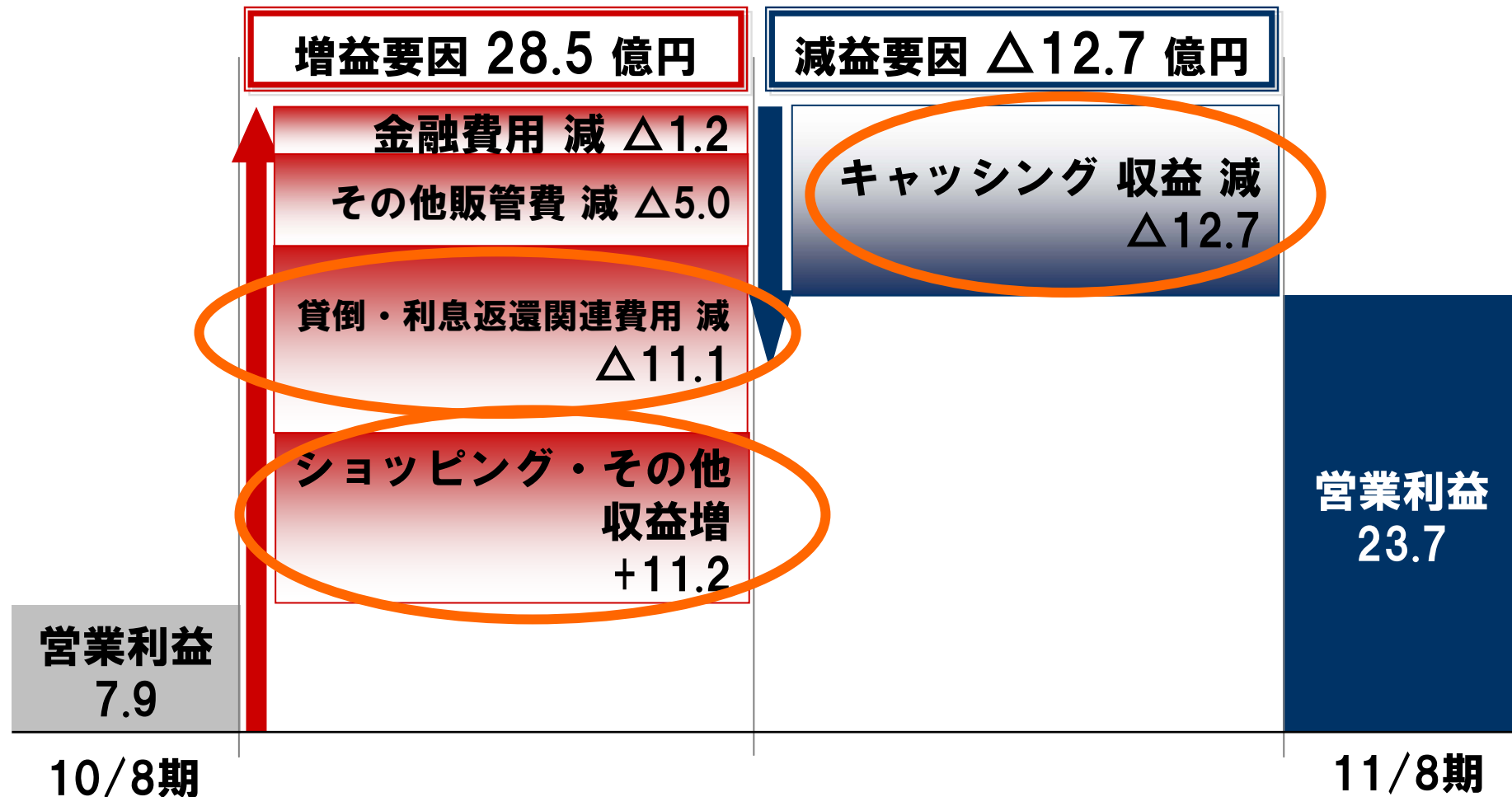
単位：百万円

	11年8月期	前年同期差	前年同期比	<参考> 9/16修正予想
① 営業収益	18,121	△149	△0.8%	18,100
② 営業利益	2,369	+1,579	+199.9%	2,300
③ 経常利益	2,321	+1,526	+192.1%	2,300
④ 四半期純利益	1,831	+1,000	+120.3%	1,800

※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として  
個別財務諸表の数値を使用しております。

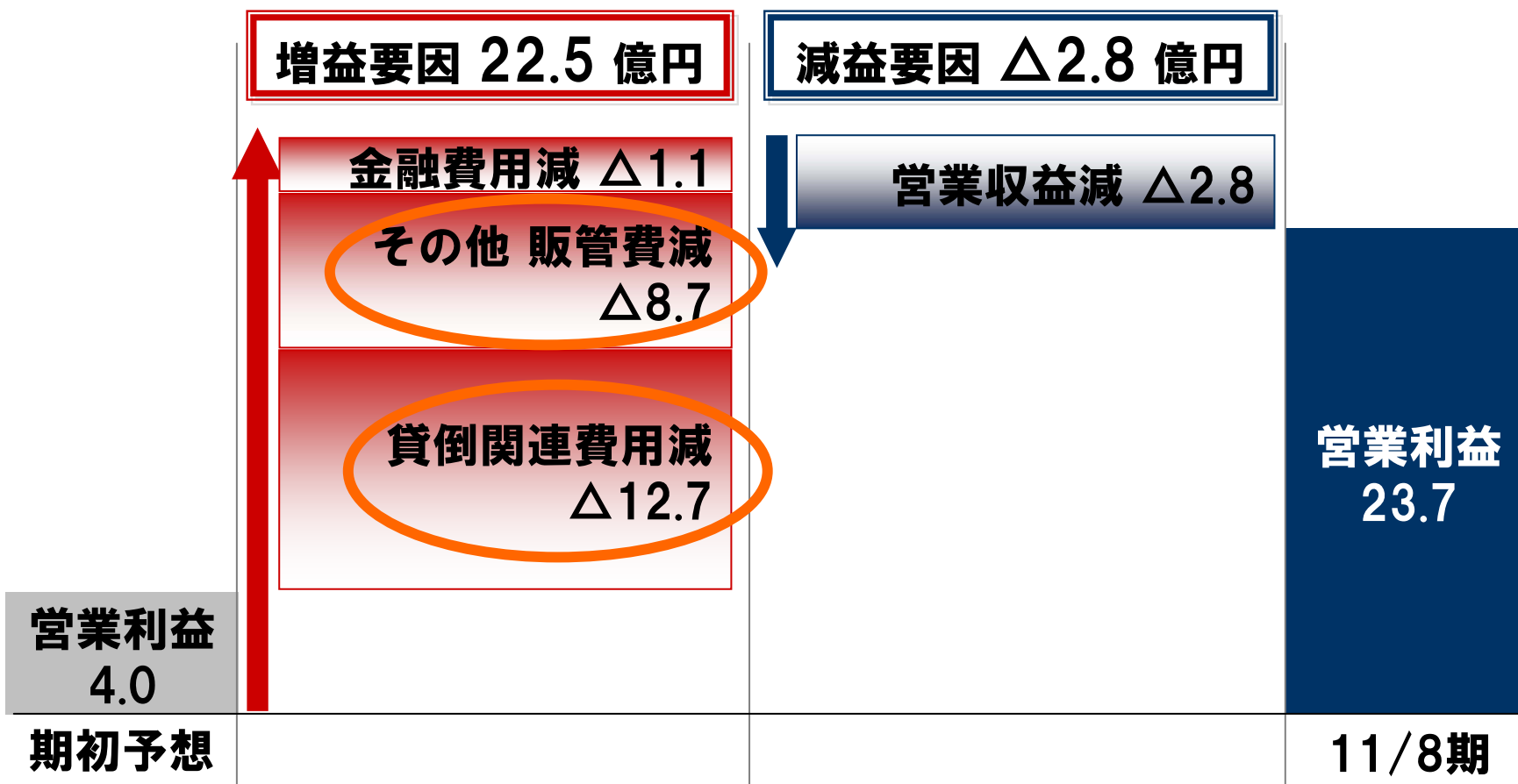
# 前年同期差異要因

	10年8月期	11年8月期	前年同期差
営業利益	7.9 億円	23.7 億円	+15.8 億円



# 期初予想差異要因

	期初予想	11年8月期	差異
営業利益	4.0 億円	23.7 億円	+19.7 億円



単位：百万円

	項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
①	信用購入あっせん	182,259	+41,785	+29.7%
②	融資	16,227	△7,880	△32.7%
③	その他	1,688	+179	+11.9%
④	取扱高合計	200,175	+34,085	+20.5%

※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として個別財務諸表の数値を使用しております。

単位：百万円

	項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
①	割賦売掛金※1	123,480	+42,626	+52.7%
②	営業貸付金※1	105,265	△11,100	△9.5%
③	債権残高合計	228,745	+31,526	+16.0%

※1.債権流動化分を含む

※2.当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として個別財務諸表の数値を使用しております。

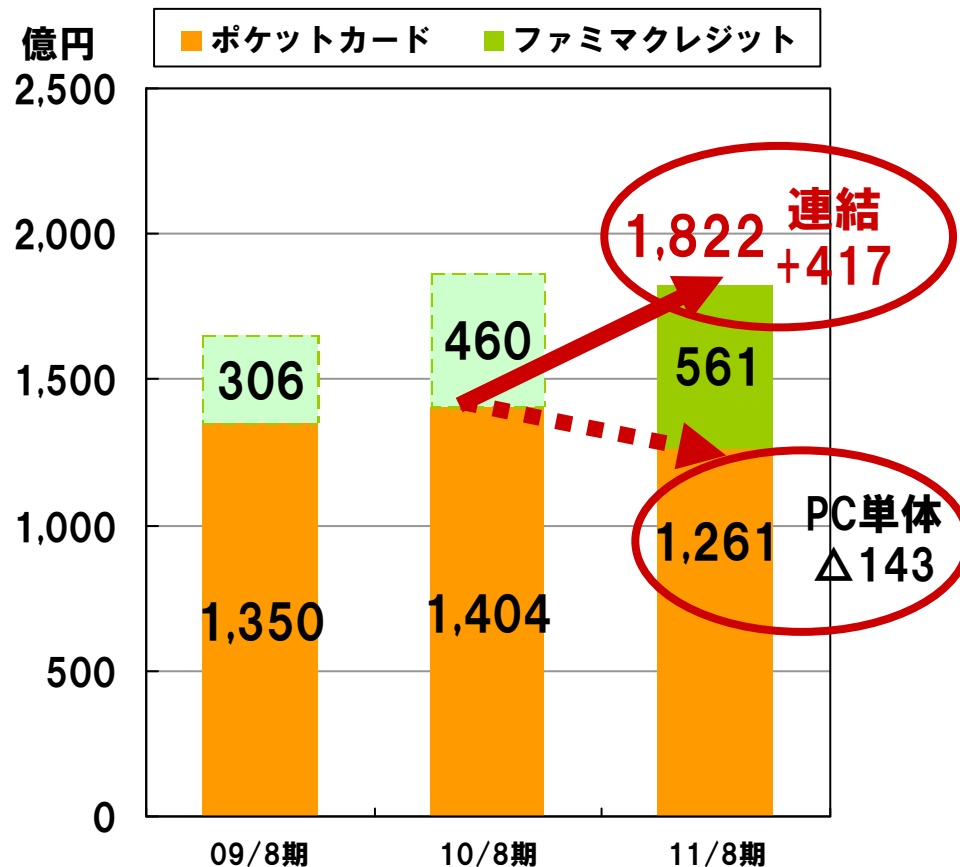
単位：百万円

	項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
①	信用購入あっせん	7,651	+2,885	+60.5%
②	融資	9,238	△1,273	△12.1%
③	その他	1,231	+533	+76.5%
	プロセッシング	—	△2,294	—
④	営業収益合計	18,121	△149	△0.8%

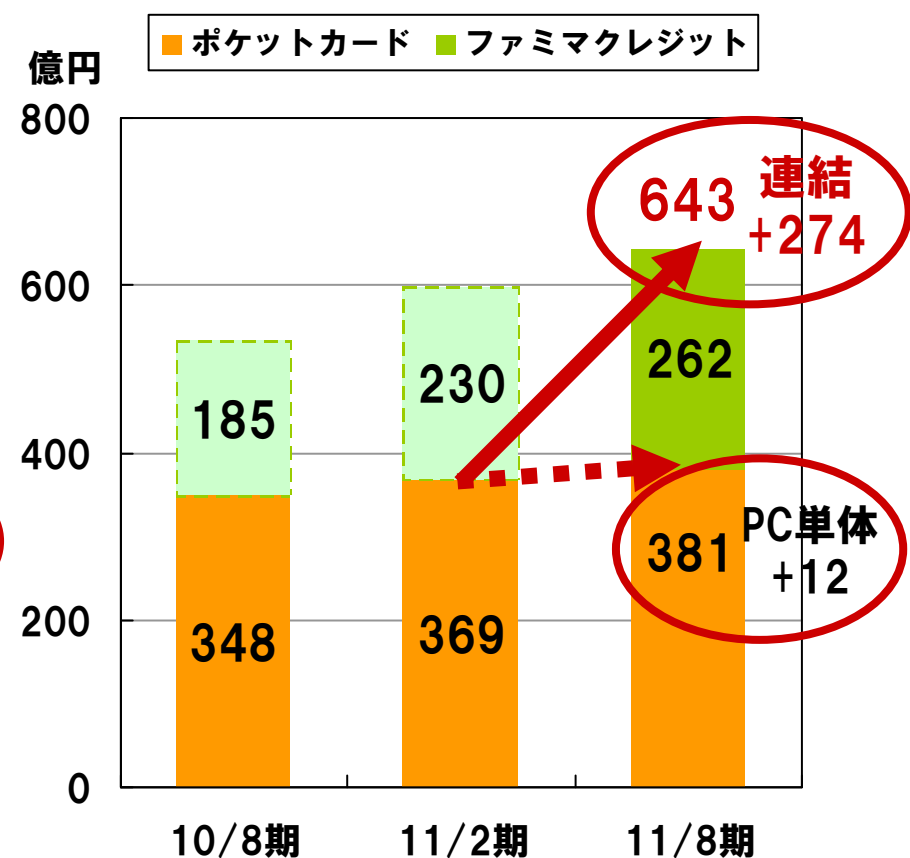
※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として個別財務諸表の数値を使用しております。

**単体では取扱高は減少、リボ残高は微増  
FMCとの統合効果により両指標ともに大幅増に**

## 1. ショッピング取扱高



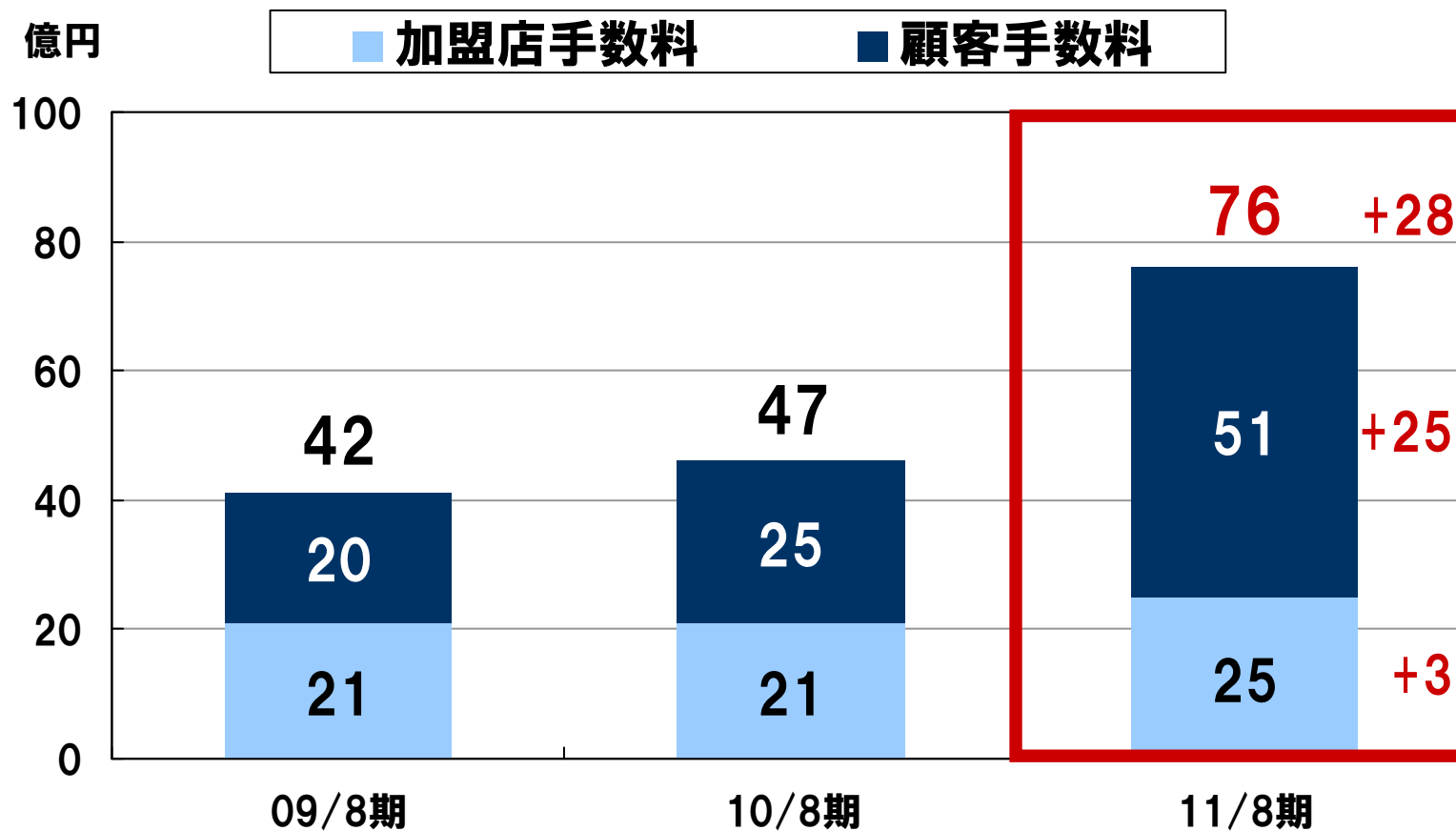
## 2. ショッピングリボ残高





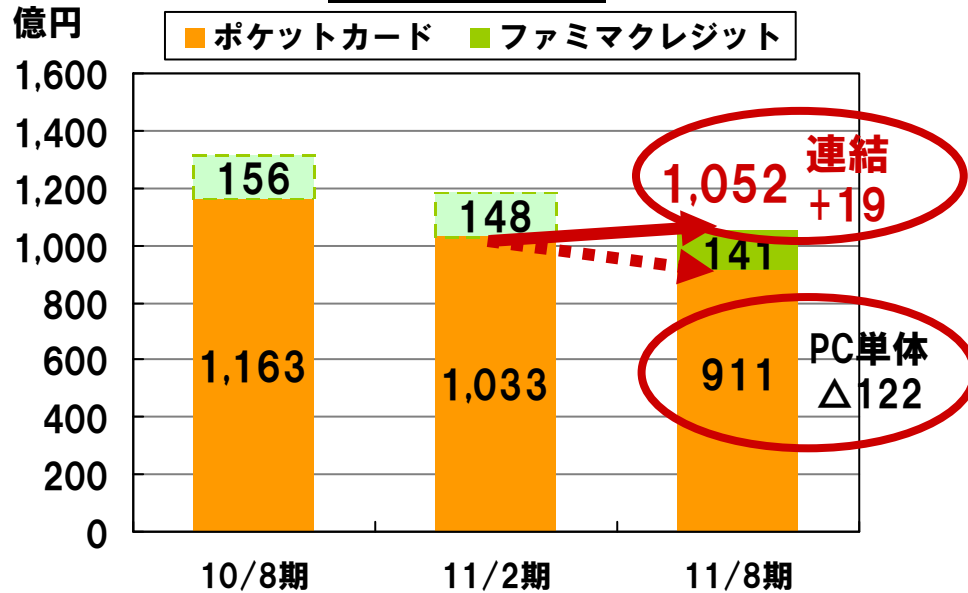
ファミマクレジットの連結取り込みにより大幅に増加

## 1. 信用購入あっせん収益推移

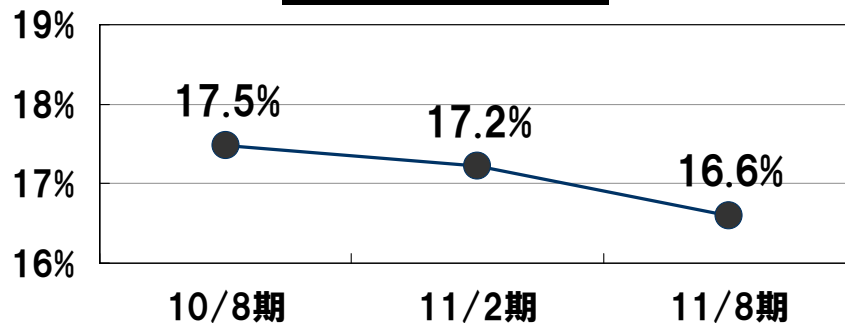


総量規制影響により残高、収益共に減少するものの  
統合効果により減少幅は縮小

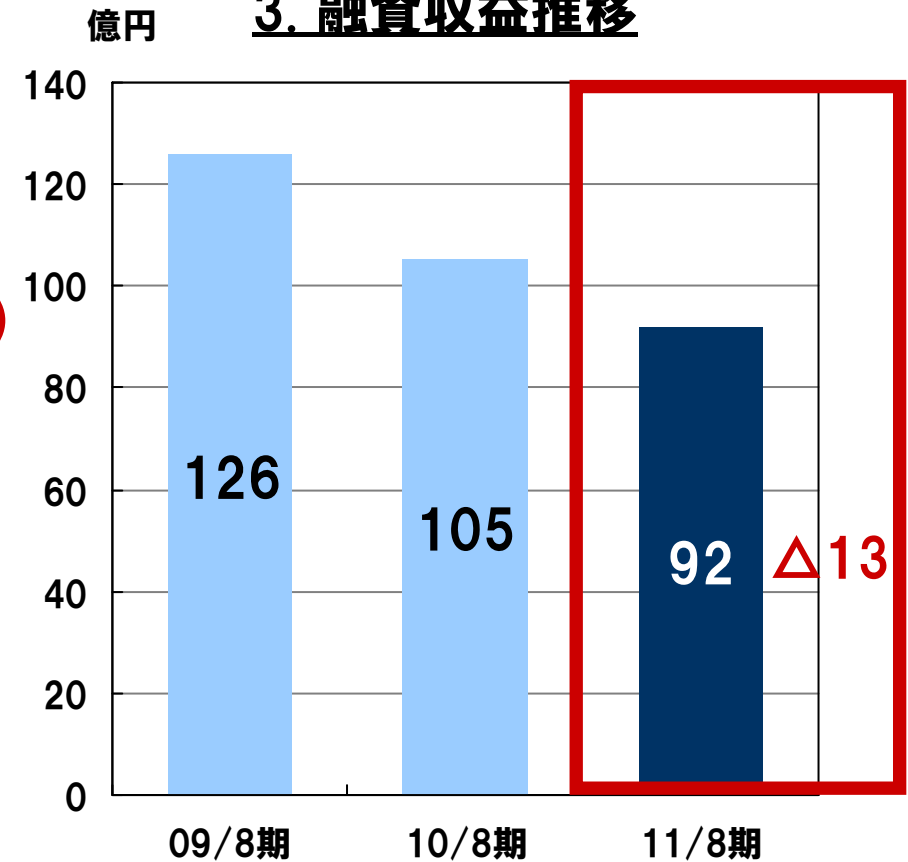
## 1. 融資残高



## 2. 平均利回り

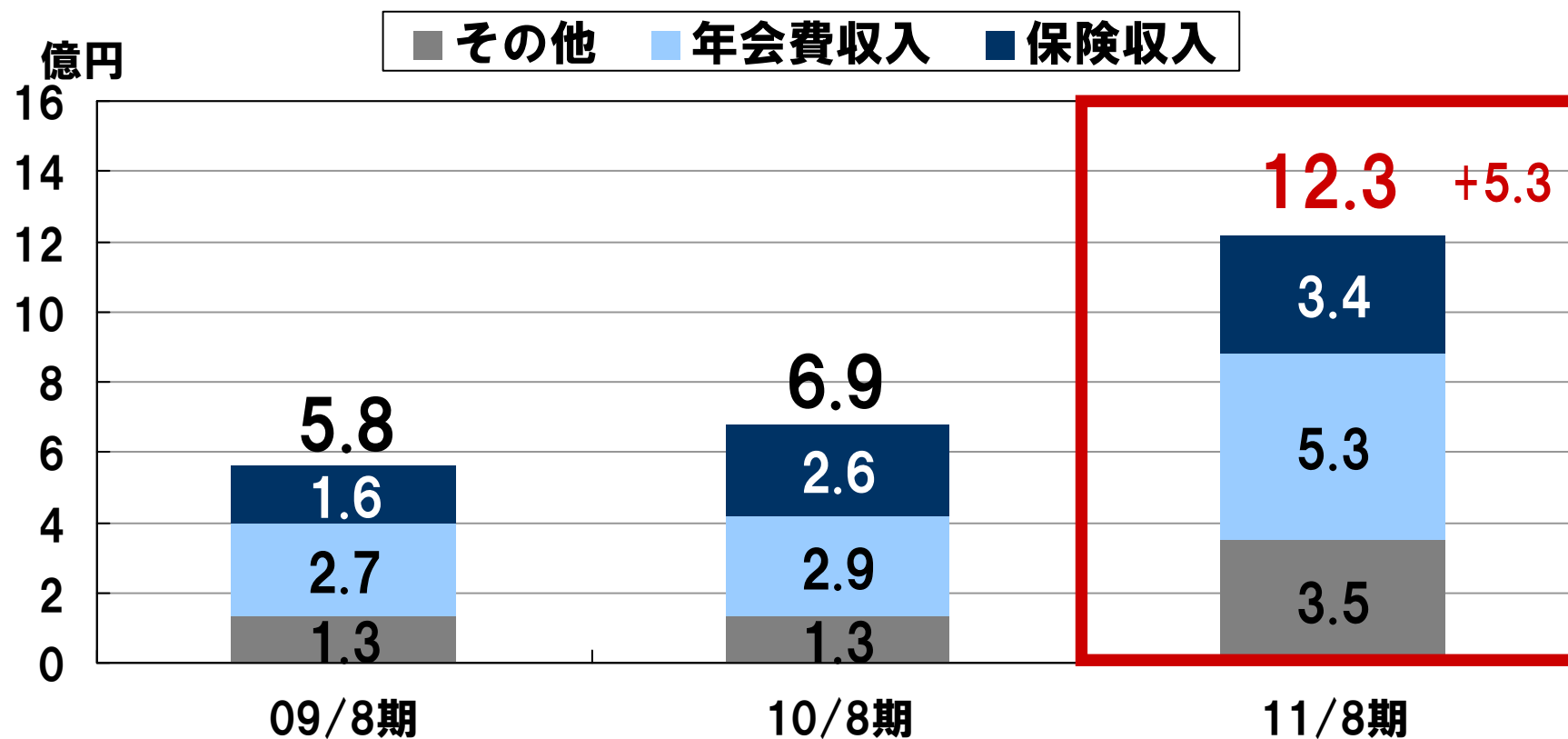


## 3. 融資収益推移



## 年会費、保険収入がその他収益拡大の牽引役に

### 1. その他収益推移



# 営業費用

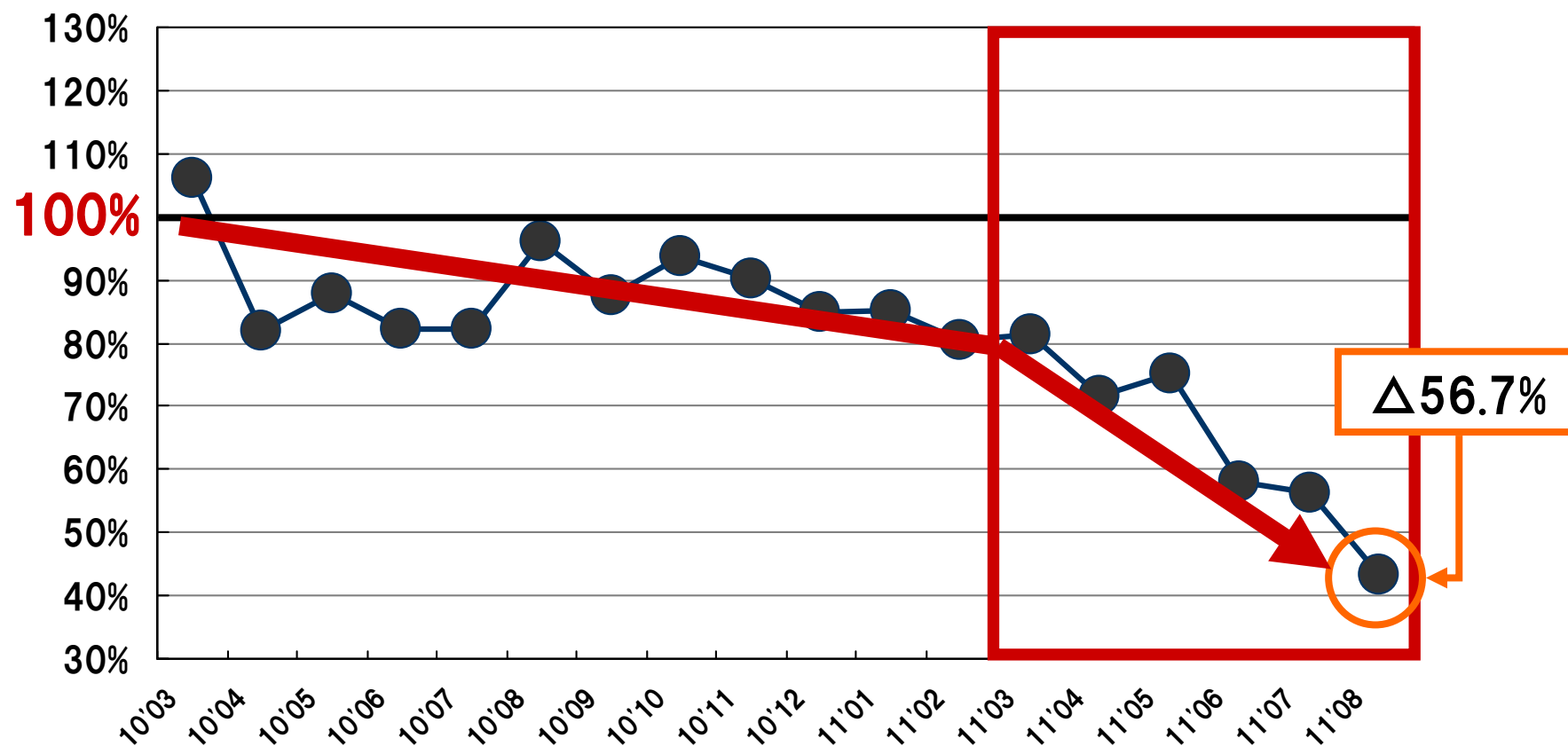
単位：百万円

	項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
①	金融費用	1,583	△121	△7.1%
②	販売管理費合計	14,168	△1,607	△10.2%
③	貸倒・利息返還関連費用	4,756	△1,110	△18.9%
④	その他販管費	9,411	△498	△5.0%
⑤	営業費用合計	15,752	△1,728	△9.9%

※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として個別財務諸表の数値を使用しております。

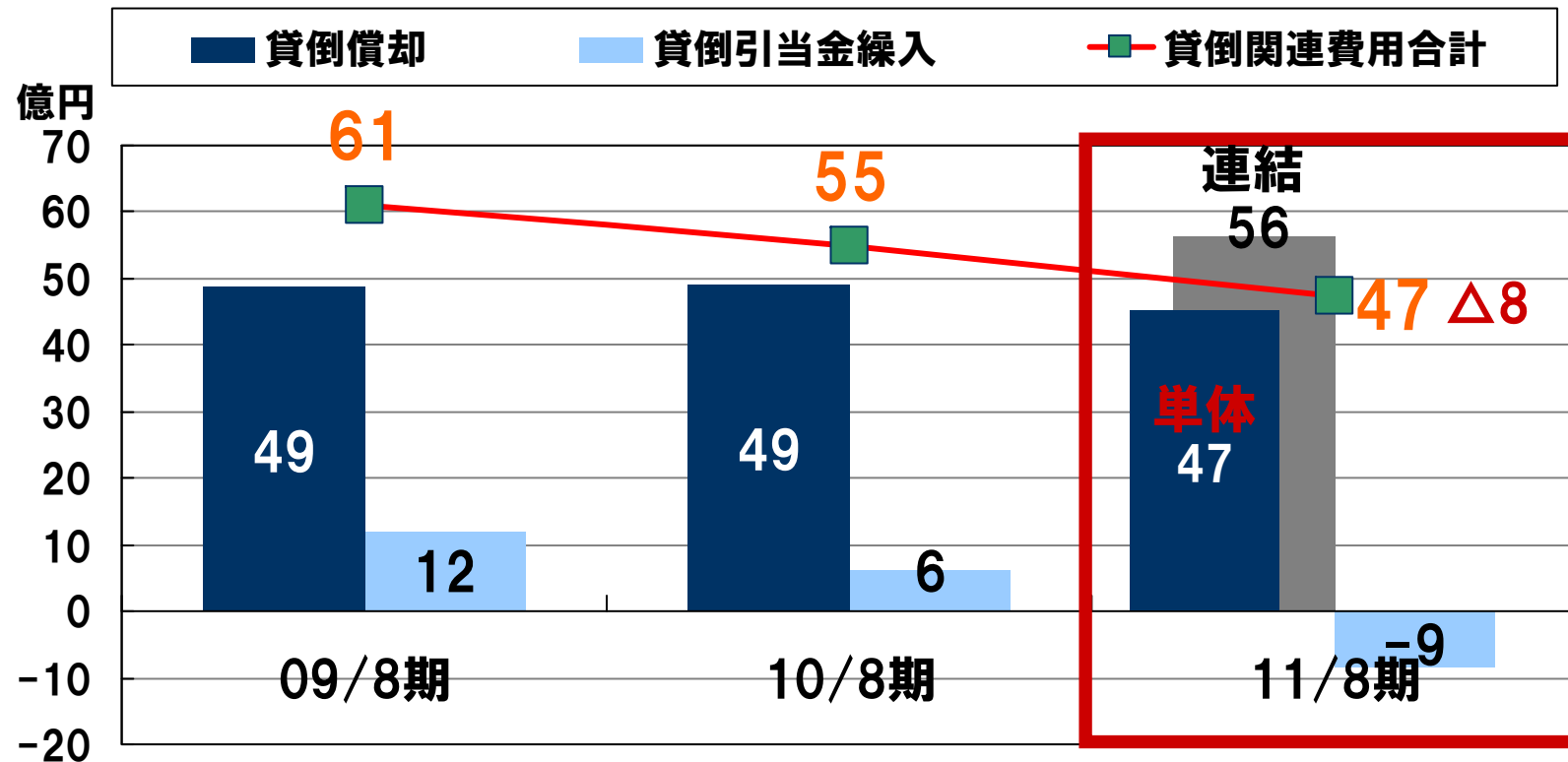
前年同月を大きく下回る水準で推移

## 1. 新規介入件数推移 (前年同月比)



## 新規介入の減少に伴い引当金繰入が減少

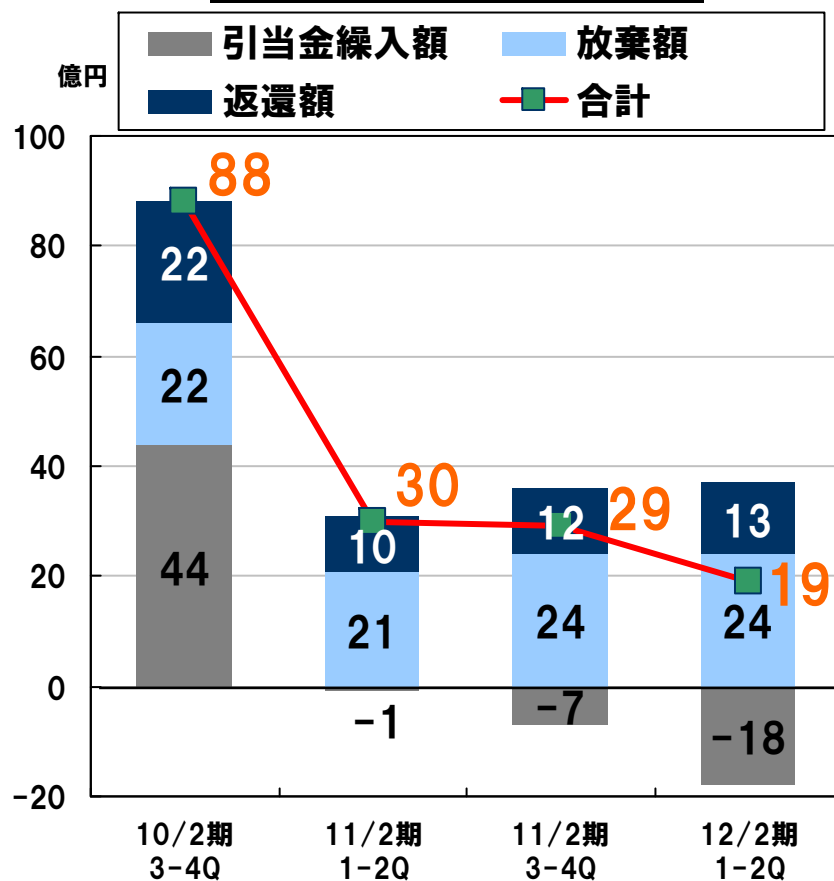
### 1. 貸倒関連費用推移



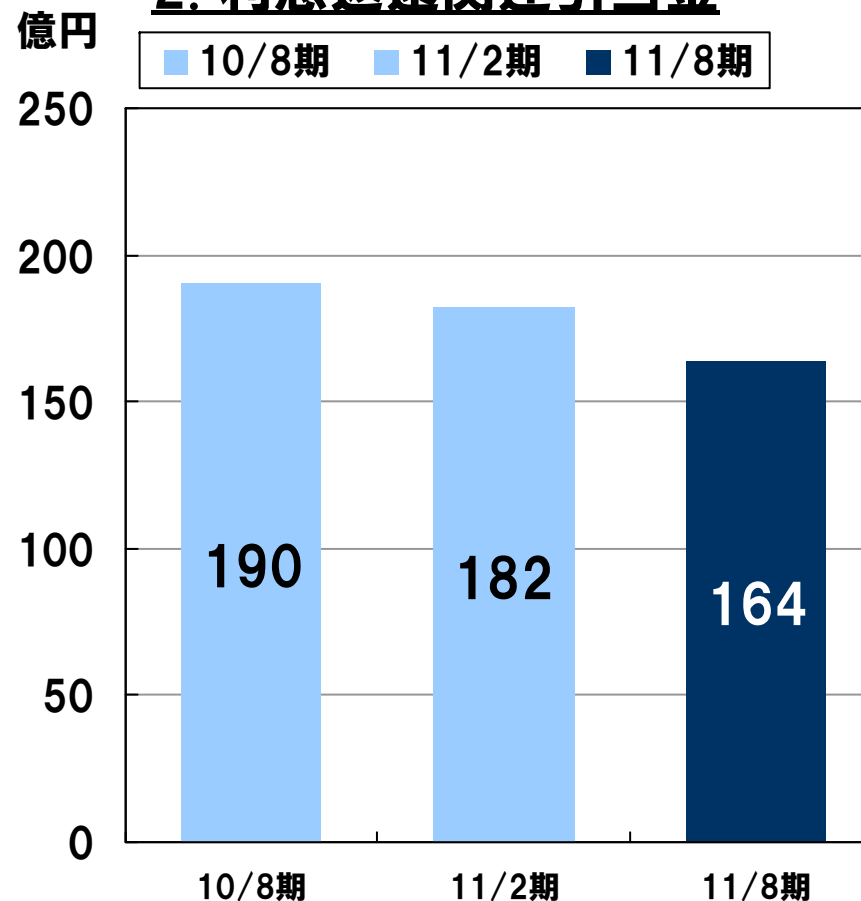
- ※1 利息返還に伴う債権放棄含む
- ※2 利息返還に係る貸倒引当金繰入含む

引当年数は2.2年と引き続き安定した水準を維持

## 1. 利息返還関連費用

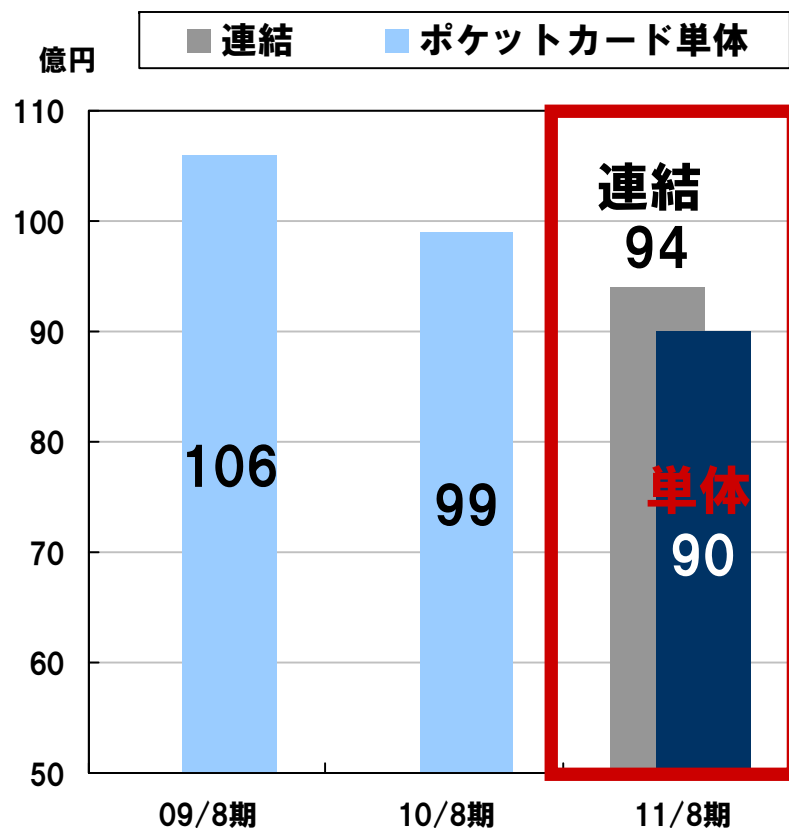


## 2. 利息返還関連引当金



## 各種コスト削減の進展および 震災影響による販促費用のずれ込み等により減少

### 1. その他販管費推移



### 2. 主な削減ポイント

#### ■ 震災影響による費用のずれ込み

- ・ 販促施策の延期または中止に伴い一部の費用が下期へずれ込み

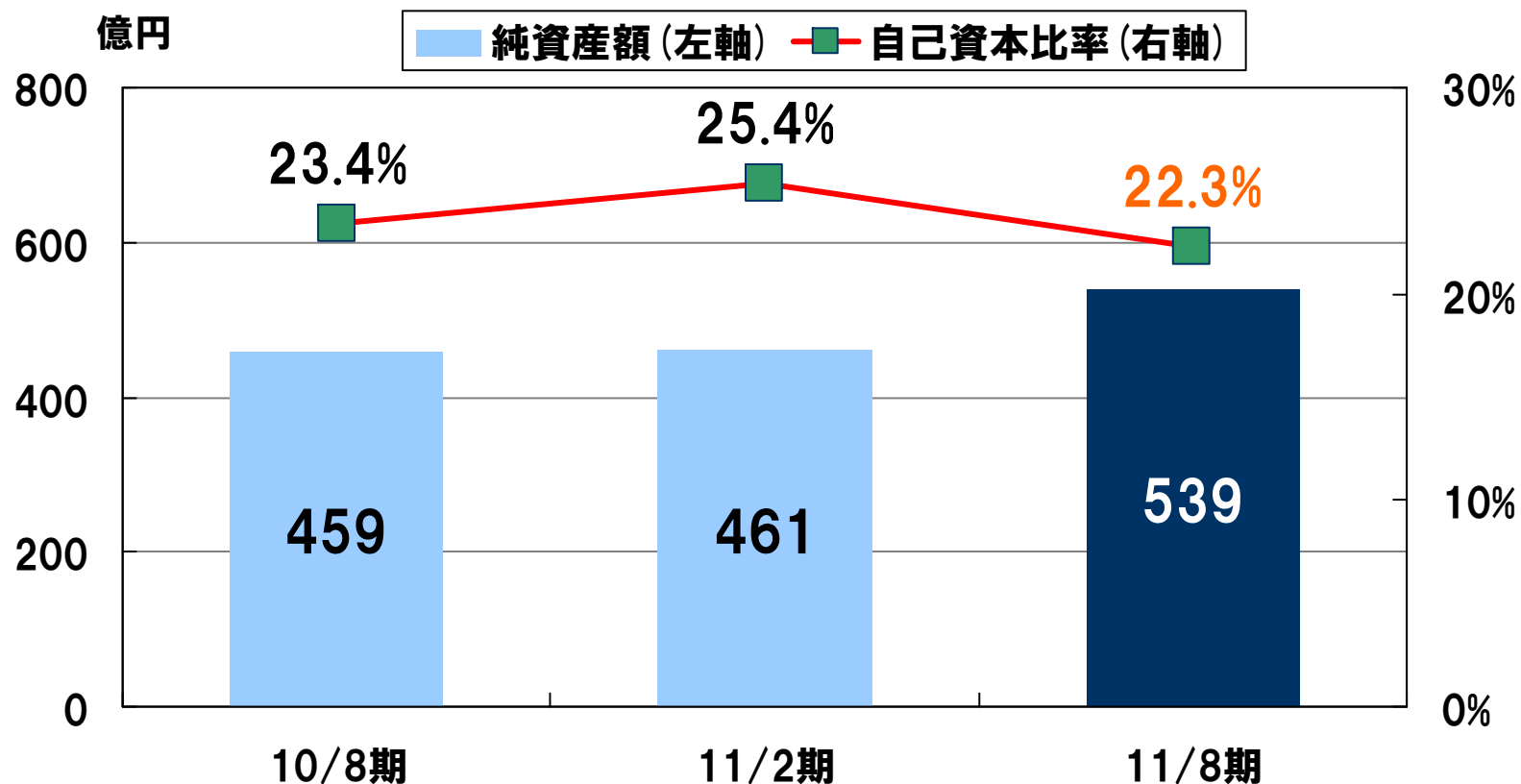
#### ■ 各種コスト削減の進展

- ・ 明細書のハガキ化、WEB化
- ・ ATM代行手数料の減少



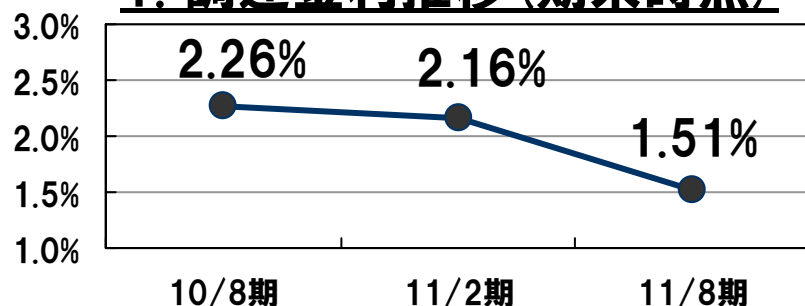
ファミマクレジット連結子会社化後も  
純資産、自己資本比率は引き続き安定水準を維持

## 1. 純資産 / 自己資本比率推移

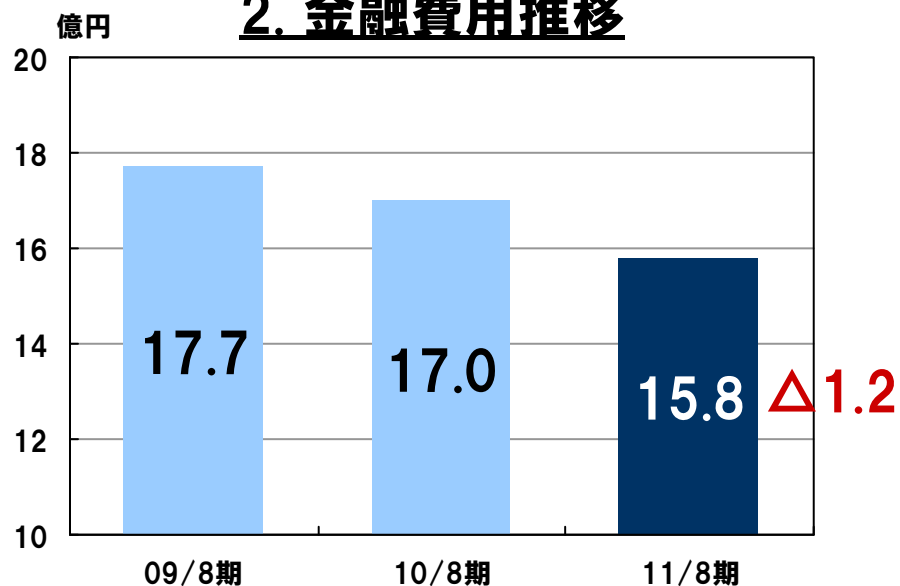


**業績改善、資本構成の変化により財務環境は改善  
調達金利の低下等により金融費用は減少**

### 1. 調達金利推移 (期末時点)



### 2. 金融費用推移



### 3. 財務関連トピックス

#### ■ 格付

- ・ JCR、R&Iの 格付見通し、方向性が「ネガティブ」から「安定的」に

#### ■ 調達環境

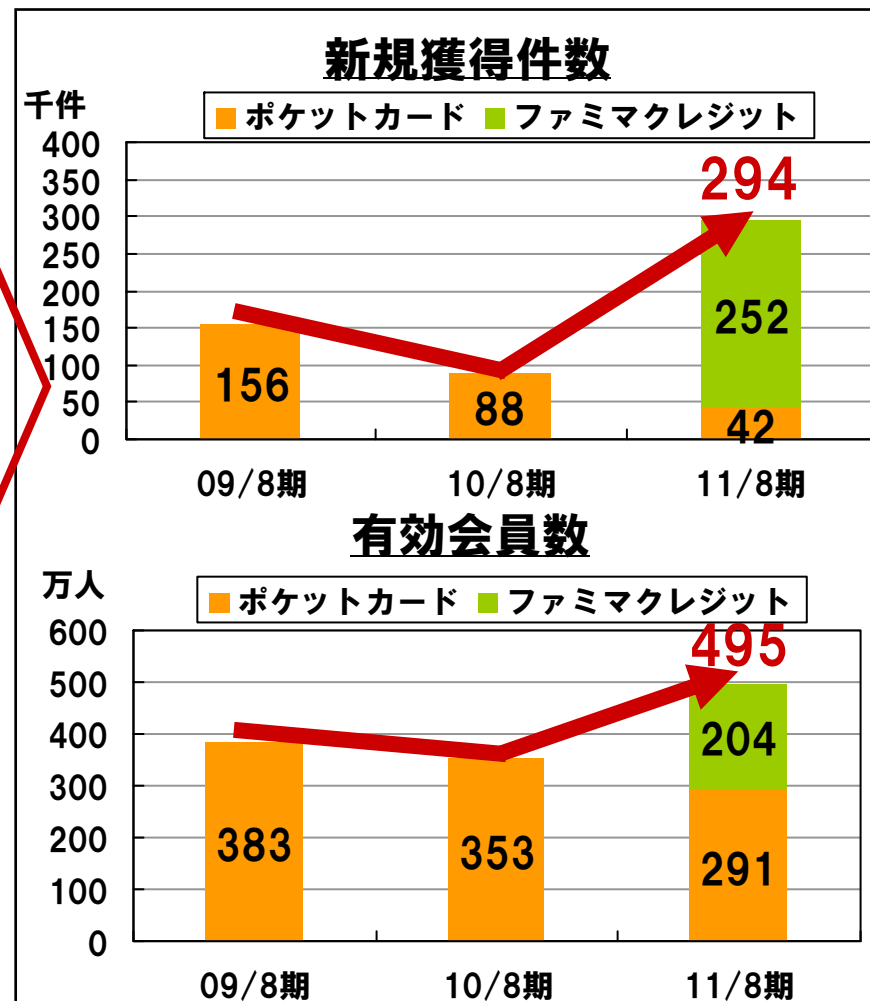
- ・ 新規取引銀行の拡大
- ・ コミットメントライン設定

## FMCとの経営統合により営業基盤が拡大

### 1. 営業数値ハイライト

	11/8期	前年同期差
新規獲得件数 (千件)	294	+205
有効会員数 (千人)	4,957	+1,427
利用会員数 (千人)	1,170	△128
年間利用率	36.3%	+1.0pt
月間利用率	24.5%	+2.0pt

※利用会員数、年間利用率、月間利用率は  
ポケットカード単体の数値



# 2011年度下期経営方針

# 業績予想の修正について

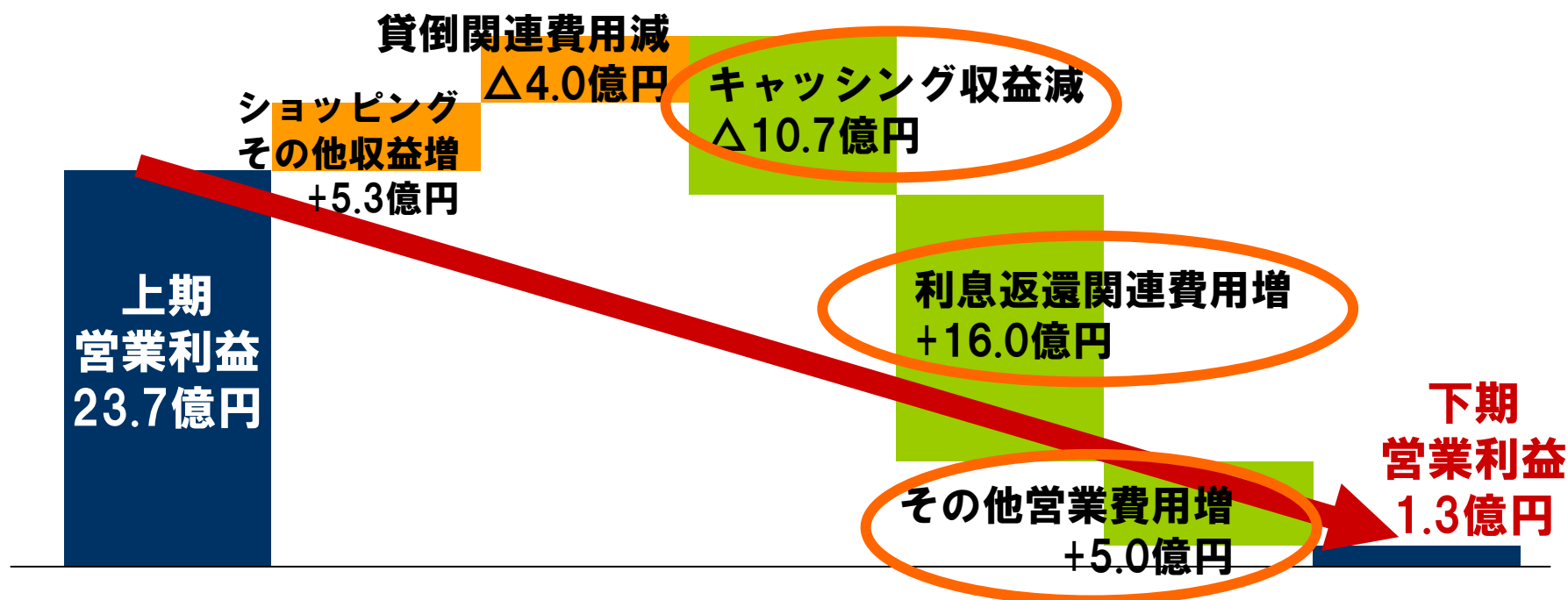
単位：百万円

	11/8期	12/2期 (e)	期初予想	差異
営業収益	18,121	35,700	37,300	△1,600
営業利益	2,369	2,500	1,400	+1,100
経常利益	2,321	2,500	1,400	+1,100
当期純利益	1,831	1,600	1,000	+600

# 営業利益 上期/下期 差異要因

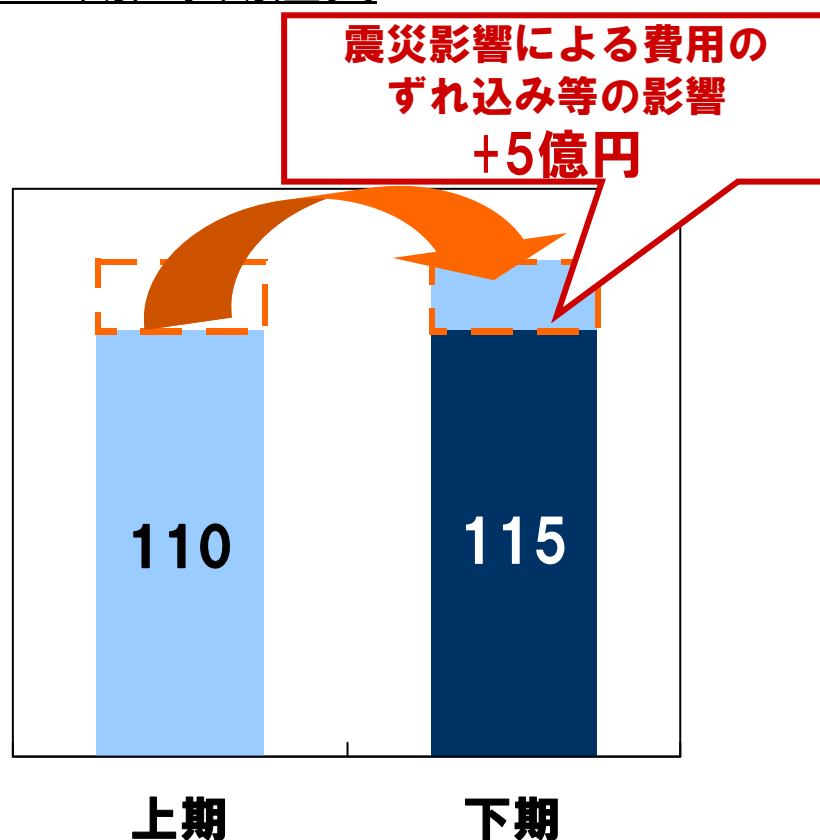
**融資収益の減少、利息返還関連費用の高止まりにより  
上期と下期に大幅な差異が生じる見込み**

	上期	下期	差異
<b>営業利益</b>	23.7億円	1.3億円	<b>△22.4億円</b>



震災影響等により一部費用が下期にずれ込んだものの  
通期では期初予想対比で12億円下振れ

## 1. 上期/下期差異



## 2. 計画差異

単位：億円

	期初予想	修正後※	差異
上期	120	110	△10
下期	117	115	△2
通期	237	225	△12

※上期は実績数値を記載

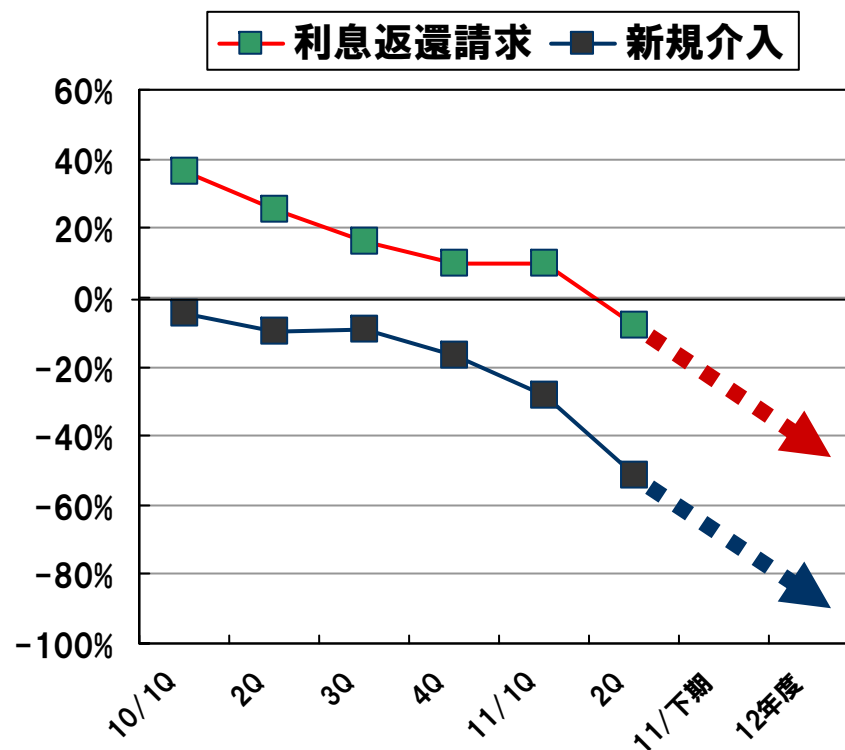
下期は利息返還引当金を一定繰入れるものの  
請求件数、介入件数動向を踏まえ通期では引当金は減少

## 1. 利息返還関連費用推移

単位：億円

	上期	下期	差異	通期
返還金	13.7	12.7	△1.0	26.4
引当金繰入	△13.2	3.5	+16.7	△9.7
合計	0.5	16.2	+15.7	16.7

## 2. 利息返還請求/新規介入件数 前年同月比推移





**1**

## バランスのとれた収益構造の実現

- 1-1 ショッピングリボの継続強化
- 1-2 キャッシング残高の減少幅縮小
- 1-3 その他収益のさらなる拡大

**2**

## 業務効率化・コスト削減の継続的な実施

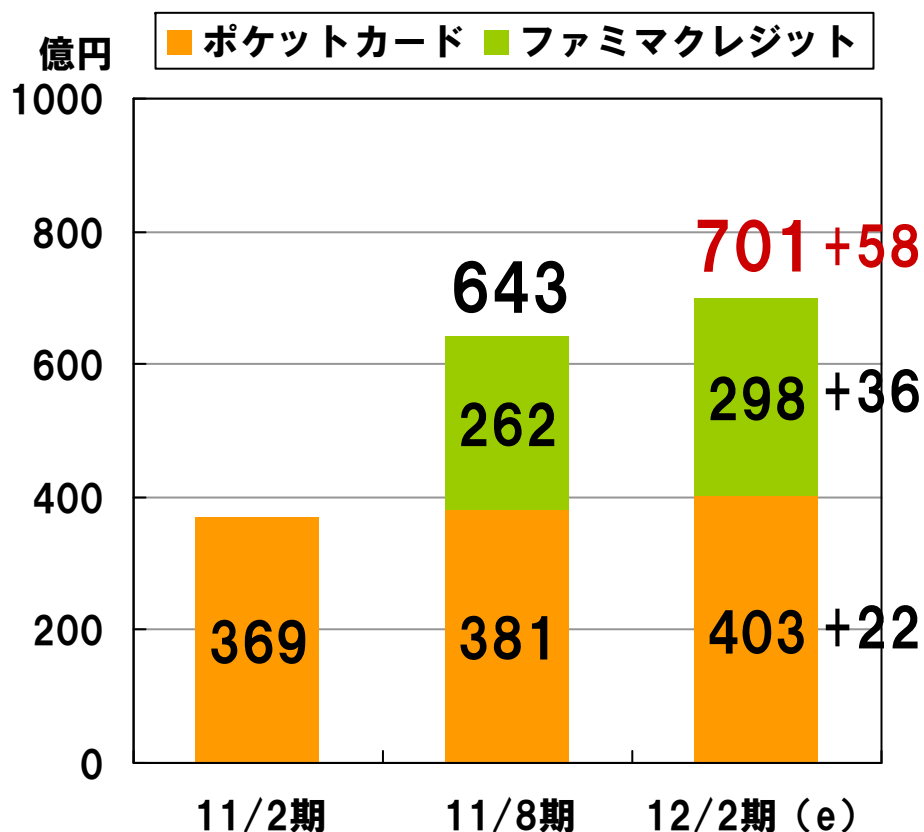
**3**

## ファミマクレジット社との合併に向けた取り組み

# 1-1 ショッピングリボの継続強化

ショッピング取扱高の伸張をてこに  
継続的なリボ残高の拡大を目指す

## 1. ショッピングリボ残高推移



## 2. 下期重点施策

### ■ ショッピング取扱高の増加

- ・ P-oneモールでのポイント施策
- ・ 加盟店手数料率が高い業態でのポイント施策
- ・ ヘビーユーザー向け増枠施策

### ■ ショッピングリボ利用の促進

- ・ スコアリングツールを活用した販促
- ・ 3法人共同キャンペーンの実施

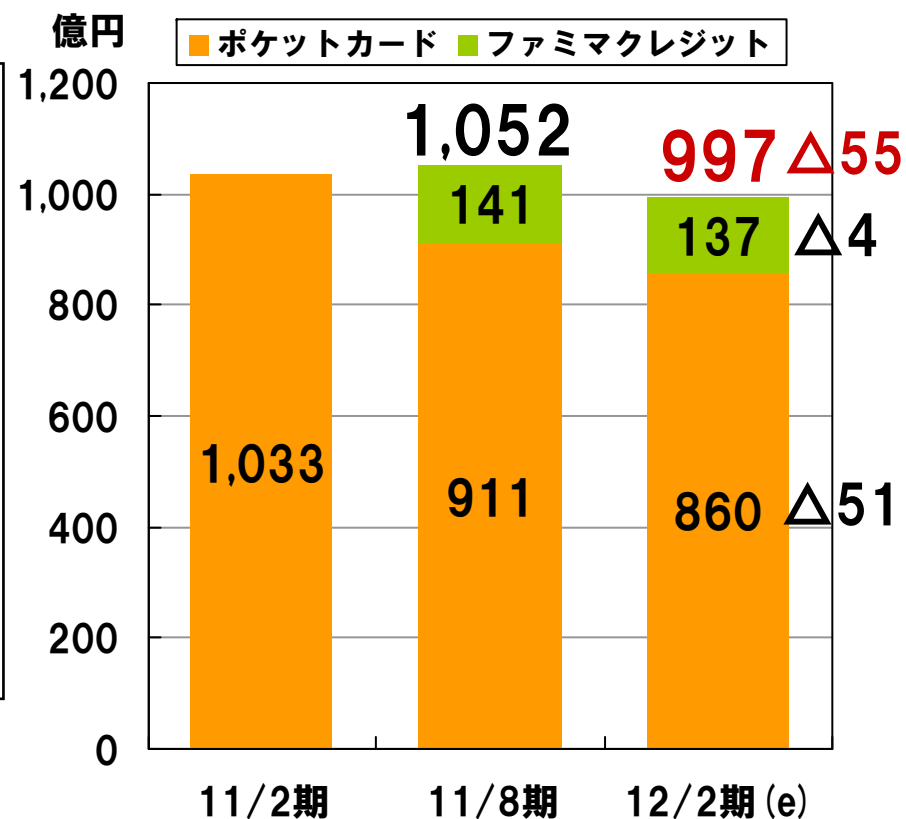
# 1-2 キャッシング残高の減少幅縮小

## 取扱高動向の反転に伴い融資残高の減少幅が縮小

### 1. 2011年度重点施策

- ビジネスセンターを新設し、個人事業者向けローンを強化
- キャッシング増枠施策を再開
- 優遇金利施策の実施
- 総量規制対象から対象外となった顧客へのアプローチ

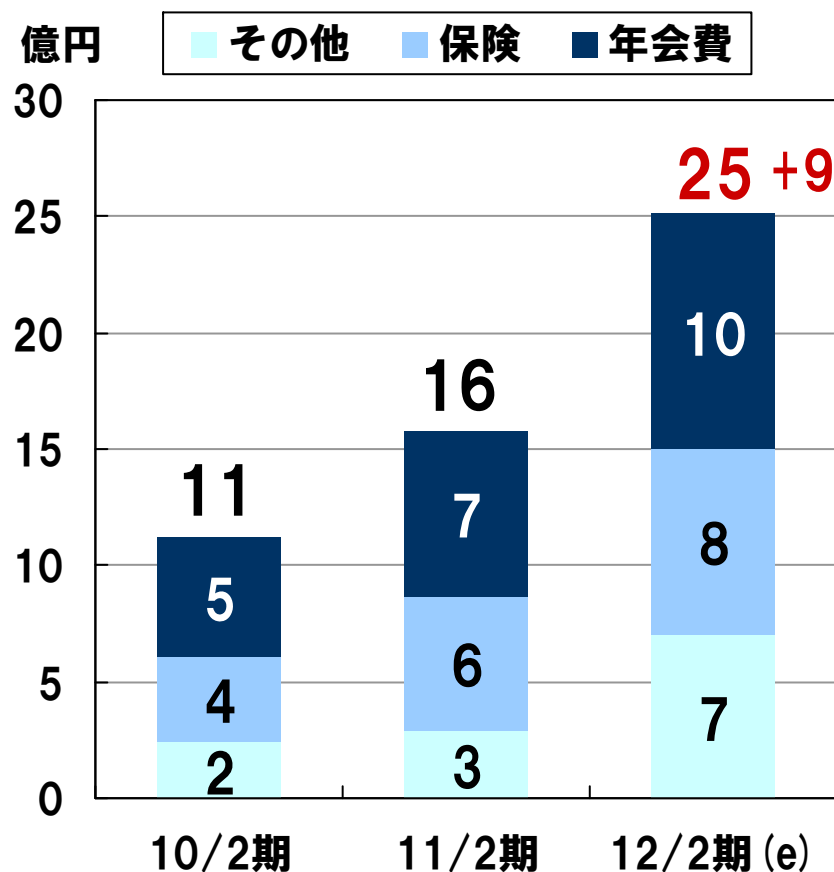
### 2. 融資残高推移



# 1-3 その他収益のさらなる拡大

## 年会費、保険収入等の新たな事業収入を拡大

### 1. その他収益推移



### 2. 下期重点施策

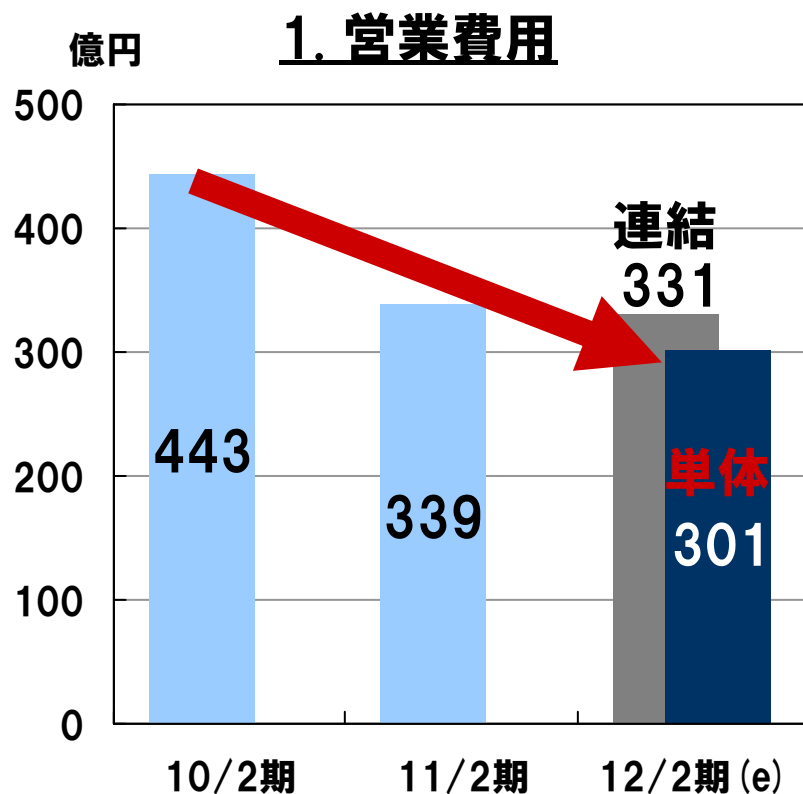
#### ■ 年会費収入拡大

- ・ ゴールドカード獲得促進
- ・ 既存カードへの年会費徴収プラン継続

#### ■ 保険収入拡大施策

- ・ スコアリングツールを活用した販促
- ・ WEB/訪問アポ等、多方面で促進
- ・ 少額保障商品の導入によりサービスフィー拡大

## 継続的なコスト削減の実施により利益水準を拡大

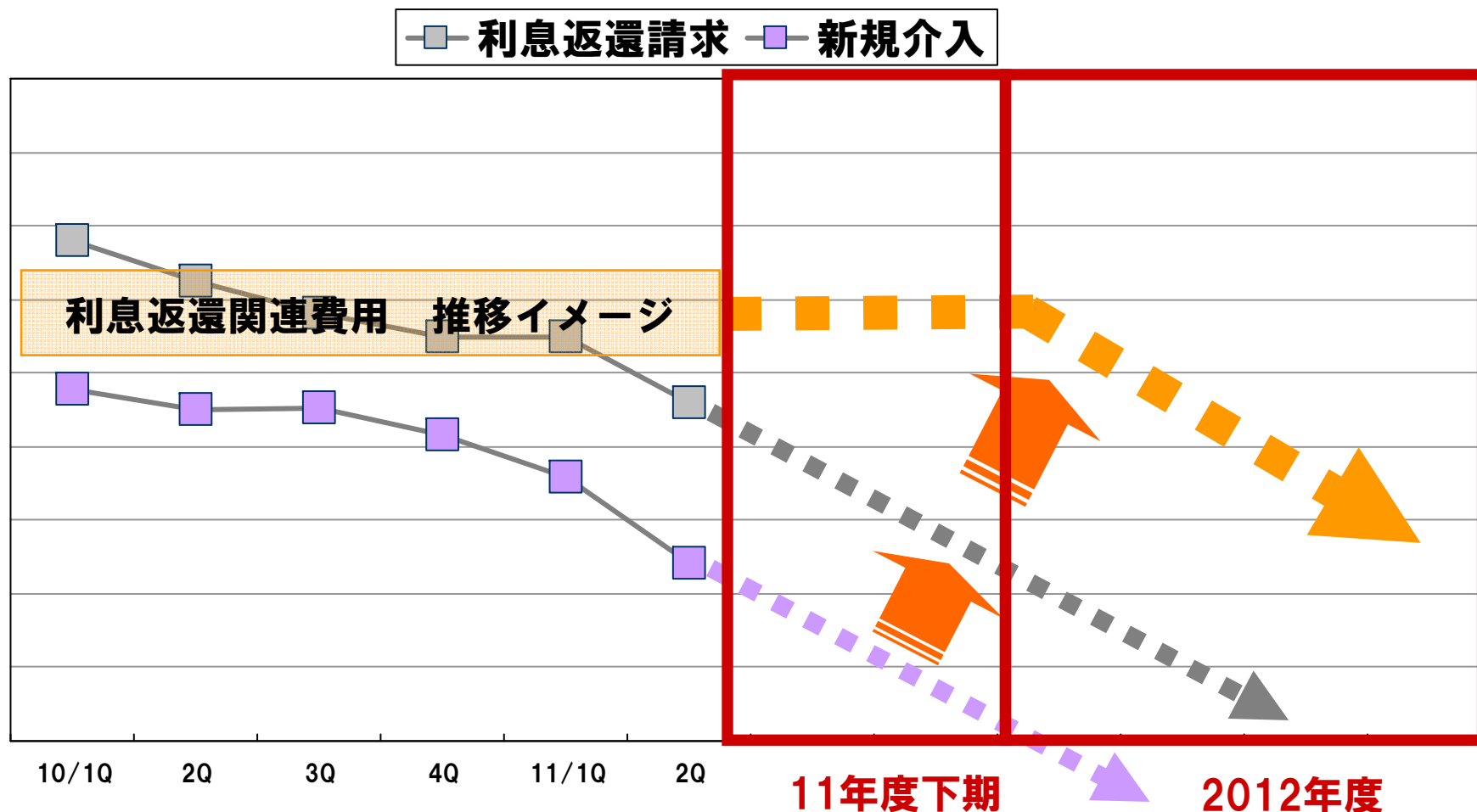


## 2. 下期重点課題

### ■ 従来からの施策を継続的に実施

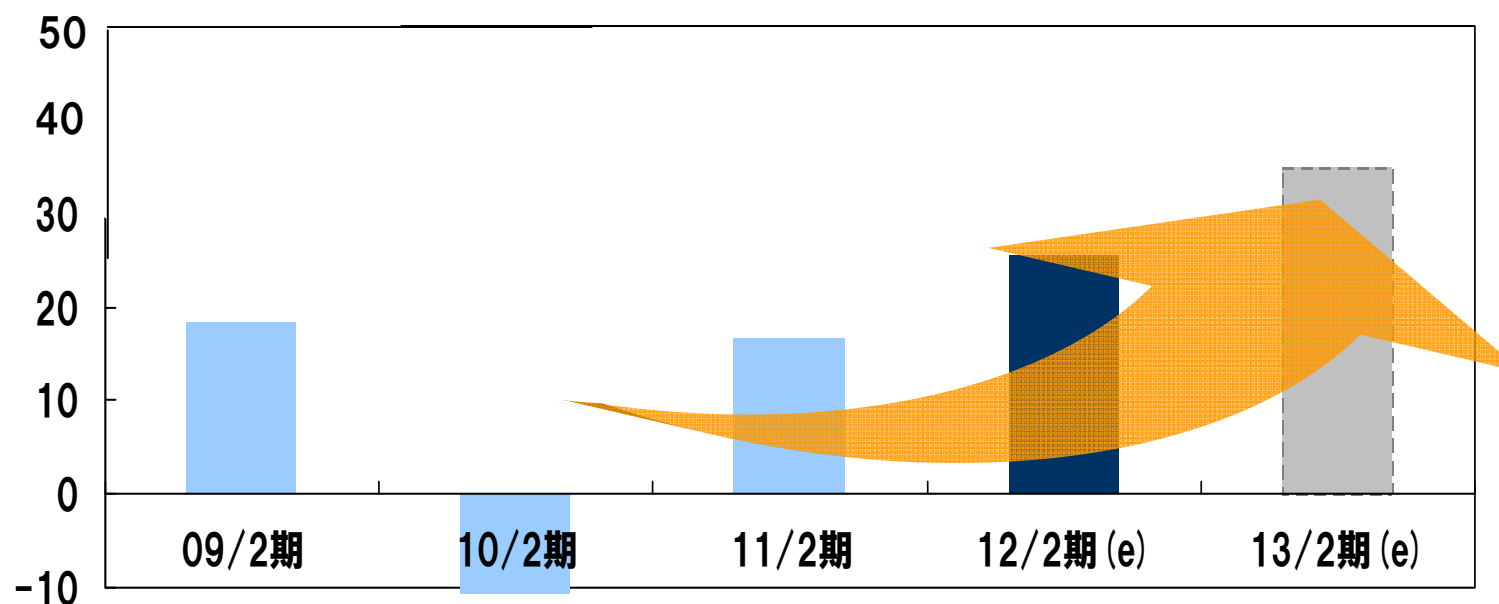
- ・ 特典、サービスの最適化
- ・ 個別提携先との条件見直し
- ・ 業務効率化への意識向上
- ・ 人材の最適配分による効率化

新規介入/利息返還請求動向を踏まえ  
来期以降の費用負担は減少する見込み



## 来期以降、費用削減の進展を主因に利益水準は改善

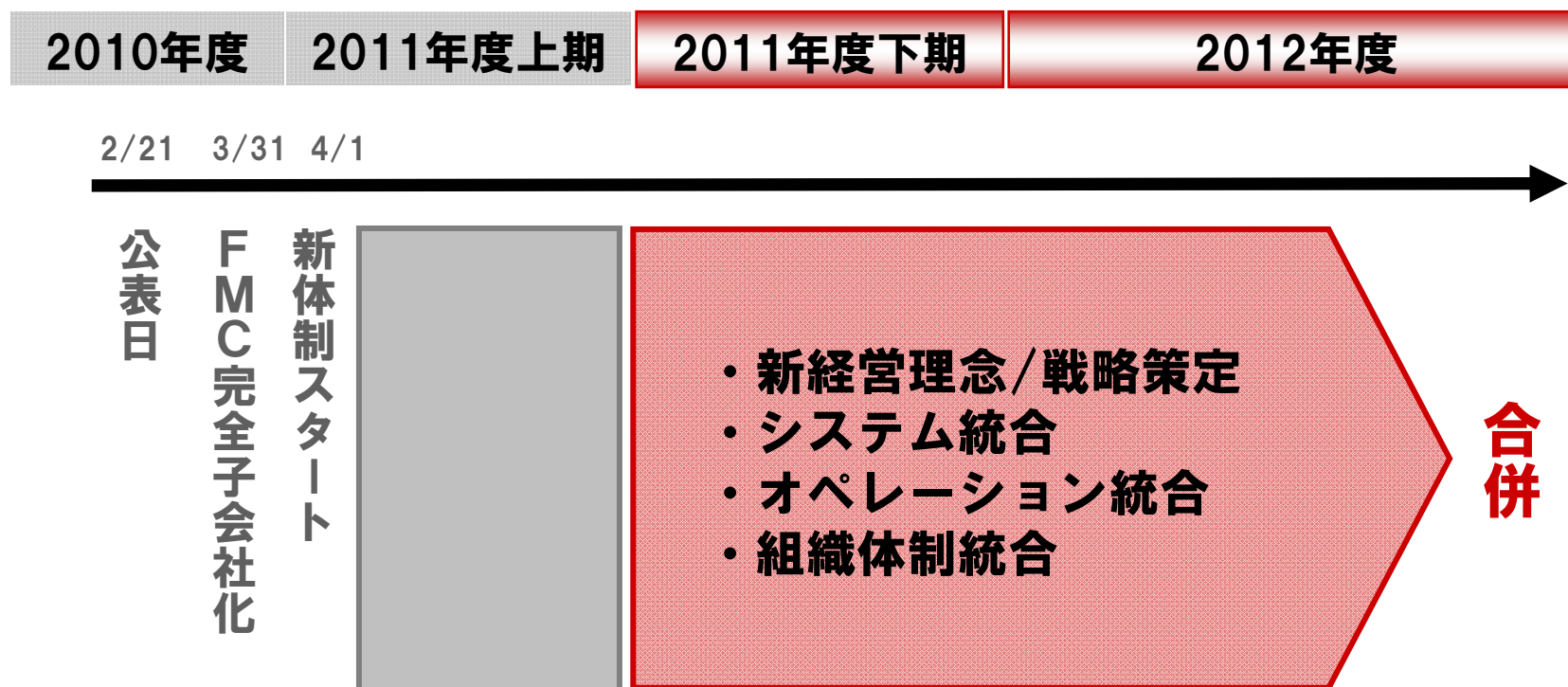
	12/2期 (e)	前期差
営業収益	357 億円	+1 億円
経常利益	25 億円	+8 億円
当期純利益	16 億円	+3 億円



### 3 FMC社との合併に向けた取り組み

子会社化から半年が経過、合併に向け引き続き注力

#### 合併スケジュール





◆本日の説明会に関するご質問、個別IRミーティング  
開催のご希望、その他IRに関するご質問  
などございましたら下記までご連絡ください。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

経営企画部 IR・広報担当 廣田・外崎

TEL : 03-5441-3450 FAX : 03-5441-1231

E-mail : [koho@pocketcard.co.jp](mailto:koho@pocketcard.co.jp)

弊社IRホームページ  
<http://www.pocketcard.co.jp/ir/>